

平成28年度 第2回城南児童館連絡協議会 議事要録

1 開催日時及び場所

日時:平成29年2月21日(火)

場所:熊本市立城南図書館 多目的室

2 出席委員

9名

熊本市立隈庄小学校 校長

熊本市南区文化協会 会長 隈庄校区 民生委員

舞原子ども会 会長 隈庄校区 主任児童委員・民生委員

火の君スポーツクラブ 会長 火の君文化センター城南まちづくり交流室 室長

熊本市立城南図書館・熊本市城南児童館 館長

城南図書館管理運営共同企業体 代表

3 議事内容

- 1) 城南図書館・児童館の平成29年度事業計画と近況について
- 2) 熊本地震震災後の地域の状況について

4 意見交換内容

「これからの城南図書館・城南児童館に求めたいこと 」

■委員A

「アウトリーチ的取り組み(病院・公民館などへの)が可能であれば行ってほしい。幼児や大人は充実を感じるが、ヤング(中学・高校生)の企画というものも入れてみてはどうか」

「本(自分史)を出してみたい方のサポート的なものがあってほしい。エンディングノートを書こうなどの企画があるので、さらに「本」という形にもっていくとおもしろいと思う。」

「これから英語に対するニーズが高まっていく。図書館・児童館で、できるサービスが広がっていくのではないのでしょうか。」

【企業体】

アウトリーチ的なのは今後担当課と話しながら行っていきたい。

■委員B

「学習指導要領の改訂 アクティブラーニング(勉強のやり方、進め方など、自分で見つけ解決をしていく)の導入に関して、図書館に自由研究になるような本があれば解決の1手段となるはず。」

「英語の授業が、3.4年で35時間 5.6年で70時間になる。より広い学びの場としての図書館・児童館があればよいと思う。」

「体験的な行事(季節の制作)やフットパス、地域に出かけて地元の事を再発見することはとても大事なこと」

【企業体】 アクティブラーニングに繋がればということで、レファレンスサービスを充実させていく予定。

■委員C

「子育てというものは家庭でするもだと思う。学校教育以前に家庭教育ではないだろうか。家庭に視点を当てたプログラムで子育て支援を。」

「空間スペースを上手く活用してほしい。(いろいろな展示・発表を巡回してもらえるとありがたい)学校と連携したプログラムを。」

「国際化する時代。英語の授業も小学校にも取り入れられる。日本語を含めての語学教育を、狭い地域にある施設(足元にある図書館等)で取り入れてもらいたい。」

「地域との連携 文化祭、ふるさと祭り、文化協会主催の「お月見会」などへの参加を。」

「29年度には利用者100万人達成しそうなので、皆で大イベントをしてはどうでしょうか。」

【企業体】 共用部(空間スペース)の活用法をしっかりと考えていく。地域の方の活動の紹介など考えているのでご協力をお願いしたい。

■委員D

「今の子ども達は、ゲーム、スマホで遊ぶことが多い。昔遊びも大事なことでないだろうか。老人会の方々に協力を頂いて昔のあそびを計画してみてもどうか。福岡県春日市から、仮設住宅にいられて、「こままわし」や「けんだま」で遊んでもらった。仮設住宅の駐車場で20個つなげた連ダコができて、子ども達もとても喜んでいた。」

【企業体】 老人会の方々など、ご協力をお願いして行ってきたい。

■委員E

「城南の仮設住宅には、集会場に多くの高齢者の方々がおられる。移動図書館を月に1度でも入れてもらえたらと思う。」

「熊本地震での城南町の状況などをパネル展示してみてもどうでしょうか。震災時地元でこんなことがあったのかなどを地域の方々にもご協力頂いて見ていただく場を作ってほしい。」

【企業体】 移動図書館(移動日等)については、本館と検討をしていく。

■委員F

「お母さん達を育てることで、子どもが育つ。児童館でのサークル「合唱部」での活動など、子どもがいてもこんなことが出来ると思える気持ちは大事。お母さんが自分達で作り上げ参加していくと、子どももとっても嬉しい。」

「本の修理 学校のお手伝いになればとPTAの活動で行ったことがある。大人だけでなく、子どもも参加して一緒に修理をすることで、本を大切に作る気持ちが育つ。(小さい時に体験したことは決して忘れない)」

「城南中学校に化学部があり、小さな子ども達とスライムを作ったりしたこともある。本を見て、こんなことができるんだと学び、本に親しむ大きなきっかけにも繋がっていたと思う。中学生も一緒になって学んでいける。」

「親子で参加できるイベントが一番求められていることだと思う。」

【企業体】 ほんの修理など、子ども達にも体験させていけるよう検討する。

■委員G

「移動図書館がどこを回っているのか等、地域にとけこんだものにするためには、もう少し具体的なことを明確に。子どもの為の講座は、とても充実しているので、大人向けの「講演会」や「学びの場」があってほしい。」

【企業体】 移動日等の広報をもっと行っていく。

■委員H

「熊本地震により、ホールがまだ使えていない。ホールがなくても賑わいを取り戻したいと考える人権学習、家庭教育講座を図書館・児童館と被らないよう、連携できる部分は連携し（月1回調整会議を行っている）進めていきたい。共用スペースとして、広い駐車場もある。地域の拠点となっていければと思う。」

【企業体】 お互いに補いながら連携していきたい。

【企業体】 ご意見や、提案等を踏まえ、29年度の計画に繋げていけるよう努める。

以上